

会議録

会議の名称	第4回加西市元気なまちづくり市民会議
開催日時	令和元年9月24日（月）午後2時00分～4時00分
開催場所	加西市役所 1階多目的ホール
議長の名	（会長 杉山 武志）
出席及び欠席委員の名	<p><出席委員></p> <p>・石 芳博 ・上田尾 真 ・織部 明政 ・久米澤 稔 ・杉本 建人 ・杉山 武志</p> <p>・高見 千里 ・谷勝 公代 ・辻田 聡信 ・仁科 崇良 ・松岡 勝己 ・宮本 真見子</p> <p><欠席委員></p> <p>なし</p>
傍聴者の人数	一般：なし 報道機関：なし
出席した事務局職員の名及びその職名	<p>・ふるさと創造部長 千石 剛</p> <p>・ふるさと創造部人口増政策課長 藤後 靖</p> <p>・ふるさと創造部人口増政策課係長 後藤 伸嘉</p> <p>・ふるさと創造部人口増政策課主任 岩野 裕之</p> <p>・ふるさと創造部人口増政策課主事 大西 弘晃</p> <p>・ふるさと創造部人口増政策課まちづくり専門員 小山 映</p>
1 議事	<p>(1) 外部評価の意見等について</p> <p>(2) 加西市行財政改革プラン（素案）について</p>
2 会議資料	外部評価の概要（平成30年度分2次評価）、総合計画施策評価一覧、加西市行財政改革プラン（素案）
3 会議の経過	⇒別紙「第4回加西市元気なまちづくり市民会議の経過」のとおり

(別紙) 第4回加西市元気なまちづくり市民会議の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
会長	<p>1 開 会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幾分過ぎやすくなった中、皆様にはお集りいただきお礼申し上げます。今回は、第2・3回の会議で協力いただき、まとめた評価等の報告が多い内容となっている。 ・例年なら今回で終わりとなるが、本年度は総合計画や地域創生戦略の改定を控えての議論がさらに残っており、各委員の積極的な忌憚のないご意見を引き続きお願いしたい。
副会長 事務局	<p>3 議事</p> <p>(1) 外部評価の意見等について 〔質問・意見なし〕</p> <p>(2) 加西市行財政改革プラン（素案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費の抑制の関係だが、職員数は平成23年度以降、横ばい状況で推移している。働き方改革の中で、事務の生産性向上を図るためには、設備投資、自動化するお金が必要である。そうしなければ、個人の仕事は増える一方である。 ・システム等の導入により、事務の手作業はとって代わってきているが、もう限界に近くなってきており、残業が増えているのが実情である。職員数は283人で減少が止まり、それからはなかなか減っていない。 ・RPAやAI等のICT技術を積極的に使っていく方向にあり、例えば議事録などの自動作成による残業の縮減が期待されており、次の10年は、どんどん技術導入していくことが進むと思う。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・住民サービスは廃止が難しく仕事が増えていくきらいがあるが、スクラップ・アンド・ビルドしていかないといけない。 ・新しいものが増えても止めるものはないということかもしれないが、民間企業では新しいことを始めれば、古いものをなくすのが普通である。
会長 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・大事な視点である。 ・今回の施策評価の結果については、内部評価と外部評価が似たようなものになっているのが気になる。内部評価Cだったのが外部評価でBになってもいいのか疑問に感じるところがある。 ・仕事の見直しは仕事を削るのではなく、ムダな仕事を無くすようにしないといけない。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・人を育てることに力をいれるべきで、数ではなく能力を高めるようにするのがよい。 ・効率よく質の高い仕事を実現するにあたり、市役所ではスキルアップだけでなく外部の研修の機会を設けるようにしている。横の連携も図りながら、市民の皆さんの期待に応えられているか常に自問して仕事を進めるようにしたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・AI・ロボット化の時代といっても、そのために新規事業が増える面が避けられないのではないか。 ・当然スクラップ化しないといけないが、これまで他市でも機械化によって、より負担が増える面があったと思う。 ・施策の評価にあたって、良い面と悪い面あるが、数字の指標がないとどうしてもバラツキが出てくると思われる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・SからDの評価はあまり差がない評価にまとまったが、委員からいただいた各個人それぞれの意見は様々であったように感じている。いずれにしても委員の皆様からの意見を活かしていくようにしたい。 ・指標づくりの段階でもって議論すべきだと考える。 ・指標は一つのものさしであり、事業の成果に直結するものは難しいところもある。いろいろいただいた意見を大切にしていきたい。
委員 事務局 会長	<ul style="list-style-type: none"> ・外部評価の最後の方で、ポイントだけを視覚的にも工夫して提示できれば、分かりやすくなる。 ・ふるさと創造会議のところの施策評価は、結局CからBにすることになったが、単に数値だけでなく、担当が一生懸命取り組んで来られたのがよく分かったからである。

委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・財政収支見通しの表の合計の金額と、前の方の決算の金額の差があるのはなぜか。 ・財政収支見通しの金額は、市が自由に使える一般財源ベースの数字で、起債や国県補助金等の使途が限られる特定財源を除いたものなので、これらを加えると決算全体の金額になる。
委員 事務局	<p>4 その他</p> <p>(1) 総合計画審議会答申への対応状況について（事務局から説明） 〔質問・意見なし〕</p> <p>(2) 北播4市比較について（事務局から説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加西市の魅力となる特徴は、どのあたりにあるのか。 ・若い人たちの好むナショナル・ブランドのお店が一通り揃っており、メガバンクもあるところが挙げられる。人気のある世界的な衣料ブランドの出店がないのが欠けている点といえる。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・以前も申し上げたことがあるが、都市ランキングはあまり一喜一憂しないほうがよい。これから検討していく総合計画の中で、これらを踏まえて考えていきたい。
会長 事務局	<p>(3) 地方創生推進交付金実績報告（事務局から説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方創生推進交付金事業のKPIの設定については、課題が多い。 ・アウトカム指標をいれるようにする国の意向にも配慮する必要がある。 ・ビジネスホテルもできたので、情報発信に力を入れていきたい。
会長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・地方創生の成果はどんなものがあるのか。 ・鶴野飛行場跡整備の紫電改の完成により、1万5千人以上の集客が既にあるが、さらに集客につなげるようにしたい。
委員 事務局	<p>(4) 次期総合計画・地域創生戦略の策定状況について（事務局から説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未来カフェは、73人の参加があったとのことだが、自治会等からの参加はあるのか。 ・区長会等を通じての参加動員というわけではなく、広く参加を呼び掛けた結果の数字で、新しい動きが出てきたと感じている。
委員 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい試みをどんどんしていくとよい。 ・知らないことばかりだが、自発的な取り組みは評価したい。
副会長	<p>5 閉会</p> <p>副会長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日の会議では、貴重なご意見を数多くいただきお礼申し上げます。今後の行革プランづくりに反映いただくようにしていただきたい。 ・本年度の会議は、次回以降、総合計画・地域創生戦略の検討に移るが、各委員には引き続きご協力をお願いしたい。